#### JR 武豊線高架化にあわせたまちづくりの経緯

年次	事業の経緯
明治 1 9年	(1886年)3月・武豊線開通(東海地方では最も古く・武豊〜 熱田間・半田駅開設)現在、東海道本線大府駅を起点とし、武 豊駅間19.3 km・1日40往復の運転状況
昭和62年	国鉄『民営化』に移行
昭和63年	『JR 半田駅周辺整備検討委員会』を設置 (JR 武豊線の高架事業の検討 )
平成 3年	JR 武豊線の高架化を実現できるよう、『国道 247 号』・『県道衣 浦西港線』・『市道荒古線』の 3路線の道路整備に着手、愛知県 半田土木事務所を中心に事業を図ることとなる
平成 4年	JR武豊線のダイヤ改正(列車本数 20 本増加)により、連続 立体交差事業の要件に該当 ・平成4年8月25日 踏切交通量調査実施 清算事業団より鉄道高架化仮線用地取得9筆・5,609.85㎡
平成 6年	JR半田駅周辺歩行者専用道路として仮線用地取得
平成 1 1年	JR武豊線のダイヤ改正により名古屋駅との直通便が 10 本から 30 本に増加、同時に新型車両の導入(現在直通便 35 本) 半田市議会鉄道高架特別委員会設置(11~12年度)
平成 1 2年	『 J R半田駅周辺連続立体交差化研究会』を設置 ( 鉄道高架に関する基本的な方向性を検討) ・平成 12 年 10月 31日 踏切交通量調査実施
平成 1 3年	『JR半田駅間辺違統立体交差化検討委員会』を設置 (鉄道高架と一体的なまちづくり構想を検討)
平成 1 5年	半田連続立体交差事業促進期成同盟会設立
平成 1 6年	JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業調査新規採択 ・平成16年10月28日 JR武豊線踏切交通量調査実施 JR半田駅前地区まちづくり基本調査実施 JR半田駅周辺まちづくり協議会設置 半田市議会鉄道高架特別委員会設置
平成 1 7年	J R 半田駅前地区区画整理事業調査実施 J R 半田駅前地区・知多半田駅北地区まちづくり勉強会設置



### 全国に誇る半田の山車まつり



<地区の山車まつり>



<br/> **くはんだ山車まつり>**<br/>
(5年に一度全31台が集結)

### 半田連続立体交差事業促進期成同盟会

事務局 〒475-8666 半田市建設部都市計画課内 TEL(0569)21-3111 FAX(0569)25-3254

# 賑わいあるまちを目指して



半田連続立体交差事業促進期成同盟会

## 市街地の東西の交流を向上し、活気と魅力のあるまちづくりを実現します

### 人・車の流れがスムーズになり 回遊性が高まります

鉄道は、市民の生活の利便性を確保する上で、なくてはならない施設です。しかし、半田市の市街地では 鉄道と道路が平面で交差しているため、踏切による交 通渋滞が発生し、また鉄道によりまちが分断されるな ど、中心市街地の停滞が深刻な問題となってきていま す。



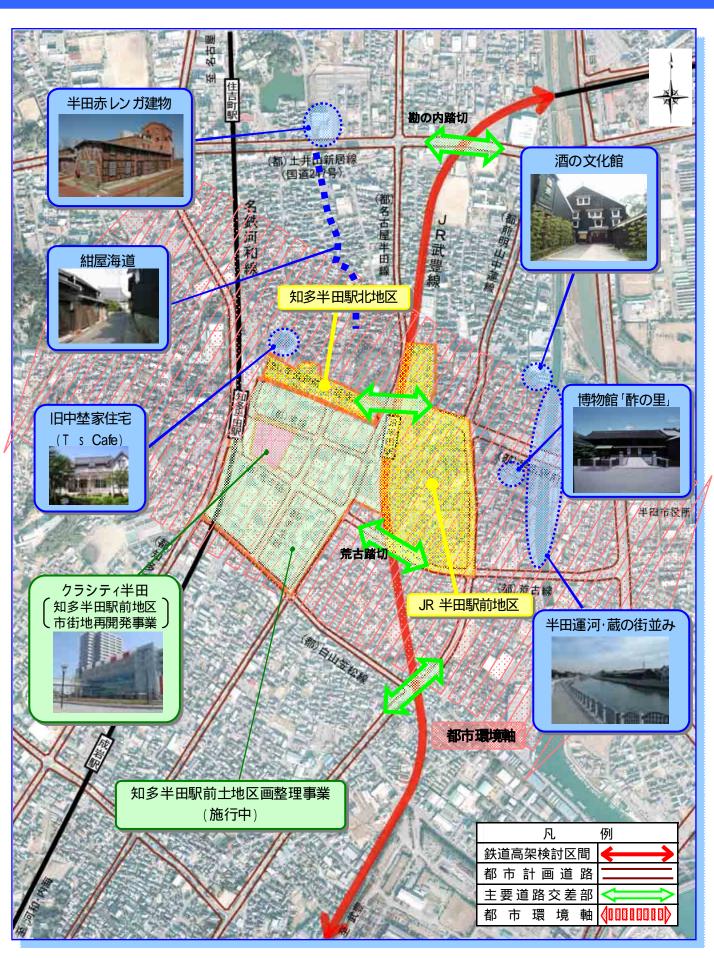
JR 荒古踏切((都)荒古線



知多半田駅北地区

そこで、鉄道を連続して高架化することにより踏切が無くなり、東西方向の道路ネットワークが向上し、周辺に数多く点在する観光資源や施設への回遊性を高めることができます。

そして、鉄道高架に合わせて周辺のまちづくりを実施することにより、半田市の都市の軸線である都市環境軸を、魅力とうるおいある軸線として形成することができます。



### 鉄道高架にあわせて 魅力あるまちづくりを進めていきます

知多半田駅前では土地区画整理事業・市街地再開発事業が実施され、新しい駅前やまちの姿が見えてきつつあります。

これに加え、JR半田駅周辺では鉄道高架に合わせたまちづくりを実施すべく、平成16年度にはまちづくり協議会、平成17年度にはまちづくり勉強会が設置され、将来のまちについての話し合いが積極的に行われています。



### 鉄道高架とまちづくりに対する 地元の機運が高まっています

JR半田駅周辺のまちづくりについては、鉄道高架に 関するパンフレットやまちづくりニュースが配布され、随 時情報提供がされています。

また、地元説明会には多数の方が出席され、市民の 鉄道高架とまちづくりに対する関心が高まってきていま す。

